

本田あきこ オレンジ日記



新型コロナワクチンの接種に向けて

自民党厚生労働部会副部長
参議院議員・薬剤師 本田顕子

「まず初めに新型コロナウイルスの感染状況について…」という枕詞で始まる日々が続いています。

感染の終息が見通せない中、1月7日から1都3県、加えて13日には7府県を対象に2度目の緊急事態宣言が発令されるとともに、その後の感染状況から、栃木を除く10都府県を対象に3月7日まで延長されることとなりました。宣言の延長は私も委員であります議院運営委員会で審議されましたが、国民の皆様への影響を思うと心が痛む思いでした。

さて、感染拡大防止と並行して進められているのが、新型コロナワクチンの接種体制・流通体制の確保です。優先接種の対象として薬局の薬剤師等の従事者も対象となりました。接種は、医療従事者向けの先行接種（約1万人）が、続いて医療従事者（約370万人）、高齢者（約3,600万人）、基礎疾患のある人、その他の方々へと続いていきます。

今回は、通常の予防接種と異なり、厚生労働大臣が都道府県知事を通じて市町村長に指示をするため、市町村長からは情報が少ないという不安の声がたくさん寄せられています。このため1月19日、自民党内に「新型コロナウイルスに関するワクチン対策PT」が設置されました。徹底した科学的知見に基づき、ワクチン接種に関する様々な課題を冷静かつ速やかに解決することを目的としているため、役員は医療系議員を中心に構成されております。藤井基之先生、私も委員として参加し、薬剤師の立場から発言をしています。

円滑なワクチン接種が始まって、新しい様式の生活は当分続くと思います。私は接種後の生活がより一層大切と思っています。

公衆衛生の大切さを薬剤師の先生から、継続して地域に広げていただければ幸いです。



本田あきこ



メルマガ登録



本田あきこの部屋



@89314honda